

用語解説

自然科学編

■ 細胞分化

細胞が特定の機能や形態を持つこと。受精卵から生体が生じる際には、細胞分裂と同時に細胞分化が起こることにより、機能が特化した組織や臓器が形成される。

■ 酵素活性

たんぱく質のうち、特定の化学反応を促進、加速する機能があるものを酵素という。生命活動において、ある機能が働いているか、また、どの程度働いているかを示す一つの指標となる。

■ 薬の代謝

生体内で薬物が化学反応を受けて変化すること。肝臓は薬物の代謝が起こる主要部位であり、肝臓で薬物が代謝されることにより、薬物作用は低下、失効することが多い。一方、代謝されて初めて薬物作用が発生するものもある。

■ 遺伝子発現

細胞の遺伝情報をもとにたんぱく質が合成されること。

■ 作業仮説

ある現象が起こる過程に対する暫定的な説明のこと。これが正しいかどうかを実験や調査によって検証する。

■ サラミ論文

1つの研究を複数の小研究に分割した、いくつかの論文のこと。サラミは薄く切って分割して食べる場合が多いことから、この名前がついたとされている。

■ 網羅的遺伝子解析

あらかじめ特定の標的に絞るのではなく、全ての遺伝子を対象に解析を行うこと。予期しない発見が得られることがあるが、一方でデータ量は大きく増加する。